



### オンラインによる授業で感染対策

新型コロナウイルスの影響で非常事態宣言の中、2学期が開始となりました。今回の始業式は、感染症予防の観点からオンラインで配信する形で実施しました。9月1日から9月24日までは分散登校期間となり、始業式でも登校している生徒は教室と体育館で、登校しない生徒は自宅から参加しました。

その後、9月6日からの1週目は、各クラス半数の生徒が登校し、教室の生徒と自宅の生徒がいる中でのオンライン授業を実施。

9月13日からの2週目は1つの学年のみ登校し、体育、音楽や美術等の実技科目を中心とした対面授業とオンライン授業を組み合わせ実施。9月21日からの3週目は、生徒が基本的には登校せずに自宅から参加する形でオンライン授業を実施。というように、段階的にオンライン授業を進めてきました。



この形でのオンライン授業は初めての試みとなりましたが、先生方の工夫と、生徒の皆さんや御家庭の協力もあり、ここまで大きな問題なく進めることができました。

これからの社会を想像すると、この先も一層 ICT を活用した学びが進んでいくことは必至です。引き続き、ICT を活用した効果的な学びを研究していくために、振り返りをして次に繋げたいと考えています。

来週からは、感染対策を引き続き徹底して、段階的に通常に近い形に戻して行きます。



### 詐欺被害防止に向け五日市警察署に協力

今夏、本校は、五日市警察署から依頼を受け、2年生の川崎さん、宮里さん、種子田さん、後藤さん、バルガスさんら5名の生徒が還付金詐欺防止啓発活動にボランティア協力しました。

あきる野市や日の出町等、五日市警察署管内の銀行等のATMで現金を下ろそうと入室した際に、「ストップ！詐欺被害。…」と、注意喚起を促す音声で自動で流れます。この音声は、生徒が録音したものです。川崎さんは、「お年寄りが詐欺だと気づききっかけになればうれしいです」としっかりとコメントをしていました。

この取組は、新聞「西の風」9月2日号一面にも掲載されました。これからも、全校体制で地域貢献に取り組みます。



### 地域を愛し地域から愛される生徒を目指します

令和3年度末で商業科が閉科し、令和4年度から普通科のみとなります。本校では、五日市周辺の立地条件、のらぼう菜などの特産物、清流秋川や多摩産材など自然豊かな産物とそれらを活用する産業を学びにつなげていこうと取り組んでいます。2年生から近隣の自治体、大学、商工会、企業、NPO 等と連携し、生徒が、地域の課題や魅力発信などの地域に密着したテーマを設定し、実際に見たり、聞いたり、調べたり、積極的に地域の方々と関わりながら、課題解決に向けて経験的に学ぶ活動を行い、地域貢献できる生徒を育ててまいります。

地域の皆様に、本校の取組について知ってほしいと考え、学校だよりを発行しました。これからも五高の情報をお伝えしてまいります。ホームページにも様々な情報を掲載してまいりますので、本校の取組についてぜひ御覧ください。

### アウトドア類型

#### リバートレッキング体験を実施

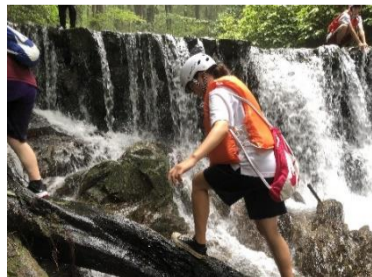
7月15日、2年生でアウトドア類型を選択した生徒が、探究活動の一環として秋川渓谷リバートレッキングを行いました。学校から10分程度で行ける秋川渓谷の素晴らしい景色を肌で実感するとともに、次年度に自分たちが地域貢献及び地域活性化に向けた提言をするための素材を見つけることを目的としました。



前日までの雨の影響で、秋川本流は増水傾向でした。本流では川での危険性についての講話や足を取られた際の対処法を実践。その後、実際に流れの強い場所に入水し、その強さを直に感じることで、自然の偉大さと怖さを学ぶことができました。秋川の本流から山道を通り支流(刈寄川)へ。支流では増水の影響が少ない上、曇り空も一遍、日差しが木々の隙間から差し込む絶好のトレッキング環境になりました。川の流を感じながら透明度に感動しつつ、ゆっくりと歩き、地形や周辺の植物の説明や川の歴史などを聞きながら、自然豊かな五日市の魅力を存分に感じることができました。

#### 【生徒の感想 (一部抜粋)】

- ・同じ川なのに川の温度が違う所があった。リバートレッキングは距離があっても飽きずに歩くことができた。最後の滝は、迫力を実際に体験できて楽しさがある。自然を楽しみたいと言う人にオススメの環境になっている。
- ・水が綺麗で冷たいから夏に遊ぶのにぴったりだし、都心の人を呼び寄せることが出来る魅力だと思う。行きと帰りでは同じ景色のはずなのに、角度が違うだけで景色も違うように見えた。岩に少しだけ咲いている花や珍しい葉っぱなど、頑張っているのを見てとても癒されました。多くの人にこの魅力を知ってもらいたい。



### マネジメント類型

#### 多摩産材フィールド・ワークを実施

7月8日、2年生でマネジメント類型を選択した生徒が、探究活動の一環として多摩産材フィールド・ワークを新宿中心に校外学習を行いました。多摩産材とは、「多摩地域で生育し、その地区で生産・認証された木材」のことで、五日市のブランドの木です。その多摩産材が使われている施設が都心にあるので、実際に訪れ体験的に学習をしました。

今回の目的地は3つです。1つ目は、新宿御苑の中にある、スターバックス新宿御苑店です。ここの椅子とテーブルが多摩産材です。2つ目は、タリーズコーヒー都庁店です。ここにも多摩産材が使われています。最後は、多摩産材情報センターのホームページで紹介されている、使用事例からグループで行きたい場所を選んで見に行きました。

今回は施設を訪れるだけでなく、消費者(ターゲット)を体験的に知ってほしいと考えました。それは新宿御苑などの都心の自然を好む人は、あきる野市の自然も好む人ではないかと考えたからです。どんな人に何を売るのがいいか。ゆったりとした空間で、多摩産材を活用した商品アイデアを考えました。生徒がフィールド・ワークで得た学びは大きかったです。今回の学びを生かして、今後の商品開発に役立てていきます。

#### 【生徒の感想 (一部抜粋)】

- ・木の触り心地や温かさを実際に触れて比較することは今までに経験していなかったからいい経験ができてよかった。
- ・多摩産材でおもちゃを作ったり、家などを作ったりしていて幅広く使われていることが分かりました。
- ・多摩産材の木は色々なことに使われていて、施設の方に説明を受け、実際に木に触れたりできて、木の温かさなどを感じることができた。

